

生駒市市民活動団体支援制度登録申請書

2017年4月3日

生駒市長 殿

申請者 所在地 生駒市
 団体名 生駒市民劇団
 代表者氏名 高井 君枝
 電話番号

生駒市民が選択する市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定による登録を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 支援対象事業の名称

ファミリー劇場「スーホの白い馬」

2 支援対象事業の分野

[主たる分野を1つ選択し、○で囲んでください]

- | | | |
|----------|-----------|-------------------|
| 保健・医療・福祉 | 社会教育 | まちづくり |
| 観光 | 農山漁村等 | 文化・芸術・スポーツ |
| 環境の保全 | 災害救援 | 地域安全 |
| 人権・平和 | 国際協力 | 男女共同参画 |
| 子どもの健全育成 | 情報化社会 | 科学技術 |
| 経済活動 | 職業能力・雇用機会 | 消費者の保護 |
| NPO支援 | その他() | |

3 支援金希望額 (E)

500,000円

総事業費(A)	1,106,000円
支援対象経費(B)	1,086,000円
支援金以外の収入合計額(C)+(D)	606,000円
支援金希望額(E)	500,000円

※(A)～(E)については、様式第4号と同金額を記入すること。

添付書類

- ・様式第2号～様式第4号
- ・規約、会則、定款等その他これらに類するものの写し
- ・団体会員名簿の写し
- ・書類送付先等届出書
- ・団体紹介冊子原稿



様式第2号(第3条関係)

団体調書

(1) 団体名	生駒市民劇団 シアター生駒		
(2) 市内事務所の所在地	生駒市		
	・専用事務所 ・ <u>生居と兼用</u> ・その他()		
	電話番号		FAX
(3) 代表者氏名	高升 君枝		
(4) 設立年月	1998年 9月	(5) 主な活動場所	生駒市内
(6) 会報等の発行	無	(7) 会員数	19人
(8) メールアドレス			
(9) ホームページ	http://ikomaza.blog96.fc2.com/		
(10) 団体の目的・概要	市民による演劇想像によって、舞台芸術を身近に市民に還元すること		
(11) 主な事業内容	年2回の本公演。市民対象のワークショップ		
(12) 主な活動の実績	本公演、ファミリー劇場、演劇になじんでもらうためのワークショップ、デイケアサービスへののでまえ公演など		
(13) 市から受けている他の補助金等	補助金等の名称		
	<input type="checkbox"/> 有り	[担 当 課]	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無		

(注) 市民活動推進センター登録団体については、(4)～(12)の記入不要

支援対象事業に係る事業計画書

<p>団体名</p>	<p>生駒市民劇団シアター生駒</p>
<p>支援対象事業の 名 称</p>	<p>ファミリー劇場「スーホの白い馬」 過去に同じ事業を [している（「ファミリー劇場」として別演目を開催）]</p>
<p>社会的背景と 支援対象事業の 目 的</p>	<p>なぜこの事業をしようと思いましたか。（事業を実施する前提となった社会的背景・問題点や課題解決による効果等を含めて書いてください。）</p> <p>(1) 事業実施理由</p> <p><社会的背景> 情報化社会の中で生活は個別化し、ドラマを鑑賞することすら昨今ではパソコンやスマートフォン相手の無機質なものになりつつある。同時に家族間のコミュニケーションの場も減少している。大勢の人と力を合わせ、ライブ感をもって感動を共にする場が必要であると考え、舞台芸術のような場は入場料が高いこともあり、なかなか日常化しないのが現実である。</p> <p><シアター生駒の目指す「生駒市」> 前述の社会的背景から、「舞台芸術が根ざし、気軽に劇場に足を運べる地域となり、家族で良質な舞台を鑑賞する」ことによって、会話がはずみ、生活の中に芸術が息づく社会、様々な芸術に触れることのできる、精神的に豊かな社会を生駒市において築き上げることができると考える。</p> <p>(2) 事業の目的</p> <p><演目> ファミリー劇場として上演する演目を考慮したところ、大人も子供もなじみがある作品として「スーホの白い馬」が候補にあがった。絵本化と同時に教科書に掲載されるようになって50年を迎えることから、幅広い年齢層からの認知度が高いと思われる。</p> <p><ワークショップで演劇に親しむ> 7月にワークショップを開催。鑑賞ではなく「参加する」という方向から、より身近に演劇を感じてもらえるように実際のトレーニングなどをアレンジした演劇講座を開催。内容も作品にちなんだものを取り入れ、作品への興味を持っていただく。</p>

<p>支援対象事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 2017年4月 1日～ 2017年 11月 30日</p> <p>(2) 実施場所 生駒市北コミュニティセンターISTA はばたき 「はばたきホール」</p> <p>(3) 受益対象者・人数 生駒市民約 450名</p> <p>(4) 具体的な内容 <台本用意> モンゴルの民話「スーホの白い馬」をシアター生駒上演用に脚色。役者の手配、脚本印刷、作曲依頼 <稽古の準備> 稽古場の予約、稽古日程作成 <宣伝> 生駒市広報、各新聞社、テレビ局に脚本を配布し掲載を依頼する。チラシ・DMの作成、入場券の販売 <稽古の進行> 台本読み、立ち稽古、子役演技指導、ダンス指導 <舞台装置・音響などの手配、打ち合わせ> 稽古と並行して、音響・照明・舞台装置のプランを立てる。 <ワークショップ> 7月予定 ワークショップ開催 <会場設営> 10月13日 舞台装置を作り、会場で組み立てる <公演> 10月14日 14:30、10月15日 11:00、14:30 <反省会> 公演後予定</p>
<p>交付決定前の支援対象事業の着手</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 (その理由) 稽古・会場スケジュールのため</p> <p><input type="checkbox"/> 無</p>
<p>過去に同じ事業をしている場合</p>	<p><今回からの新規の取組又は今年度の目標></p> <p>・生活の中に芸術が息づく社会のために「継続」をめざして「ファミリー劇場」を何度か公演することにより、少しずつ認知度が上がっており、ファミリー劇場目当てで公演を探して下さる方もいらっしゃる。一方で大人向けの作品への要望もある。ファミリー対象の演目と年齢層を上げた演目の両方を公演で繰り返し行うことで、幅広い層に演劇文化を定着させていきたいと考えている。</p>

	時期（月）	内 容
<p>支援対象事業のスケジュール</p> <p>※準備から事業後の反省会等まですべてを記入。</p> <p>※広報いこまち掲載時期等、PRに関する事項も記入</p>	4	小道具・衣装製作・人形作成
	5	本読み・キャスト決定
	6	本読み・ダンス稽古
		広報「いこまち」掲載申請
	7	立ち稽古・演劇ワークショップ
	8	立ち稽古
	9	照明・音響・装置プラン
	10/13	仕込み
	10/14	午前中リハーサル、
		1回目上演 14:30
	10/15	2回目上演 11:00
	11	3回目上演 14:30
		総括・集計など
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民による選択の届出が、支援金希望額より少額だった場合の対応 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 自主財源から補填 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> その他 ・ 備品の購入がある場合はその理由 ・ その他 	

支援対象事業に係る収支予算書

団体名

生駒市民劇団シアター生駒

支援対象事業の名称

ファミリー劇場「スーホの白い馬」

1 収入

(単位 円)

項 目	金 額	説 明 (積 算 等)
生駒市支援金	(B) 500,000	
事業収入	(C) 500,000	1,000円×400人(大人) 500円×200人(小人)
自主財源	(D) 106,000	
合 計	1,106,000	

2 支出

(単位 円)

項 目	事業費	うち対象経費	うち対象外経費
賃 金			
報 償 費			
旅 費	5,000	5,000	
消 耗 品 費	100,000	100,000	
食 糧 費	20,000		20,000
燃 料 費			
印 刷 製 本 費	50,000	50,000	
通 信 運 搬 費	31,000	31,000	
保 險 料			
委 託 料	600,000	600,000	
使 用 料 及 び 借 賃 料	300,000	300,000	
原 材 料 費			
備 品 購 入 費			
そ の 他			
合 計	(A) 1,106,000	(B) 1,086,000	20,000

3 支出の内訳

(単位 円)

項目	対象経費	内 訳	対象外経費	内 訳
賃金				
報償費				
旅費	5,000	舞台装置運搬高速道路代		
消耗品費	100,000	衣装布地¥30,000 人形材料¥30,000 舞台設営材料¥30,000 小道具代¥10,000		
食糧費			20,000	スタッフ弁当代
燃料費				
印刷製本費	50,000	チラシ・ハガキ・ チケット・パンフレッ ト・台本		
通信運搬費	31,000	DM発送代 52円×約600通		
保険料				
委託料	600,000	装置¥300,000 照明¥100,000 音響¥100,000 作曲¥30,000 人形制作¥70,000		
使用料及び 賃借料	300,000	会場費¥250,000 稽古場代¥50,000		
原材料費				
備品購入費				
その他				
合 計	1,086,000		20,000	

生駒市民劇団「シアター生駒」 会則

1998年12月

私達は、生駒市在住の市民を中心にして演劇を創造し、上演するために集まったものです。

その目的は

- ①自分たちの手で演劇を創造する
- ②演劇を劇場、またはいろいろな場で上演し、市民の皆様にご覧いただき、楽しんでいただく
- ③演劇の輪を広げるため、演劇講座・ワークショップなどを開講する
- ④奈良県内の他劇団、または生駒で活動されている様々な文化団体との交流を図る

以上を中心にして、活動を行っていきます。

生駒市民劇団「シアター生駒」 規約

1998年12月施行

第1条 (名称)

本劇団は名称を、生駒市民劇団「シアター生駒」(略称「シアター生駒」)と称す。

第2条 (目的)

本劇団は、生駒市在住の市民が中心となって演劇を創造し、市民の皆様にご覧いただき、楽しんでいただくことを目的とする。

第3条 (所在地)

本劇団の事務所は、生駒市 劇団代表、高升君枝宅に置く。

第4条 (構成)

本劇団は、生駒市在住の市民を中心に、他府県・他市からの参加も含めての団員によって構成される。

第5条 (活動)

本劇団は、前条の目的を達成するために、生駒市の施設などを利用して、次のような活動を行う。

- ①劇場公演
- ②でまえ公演(いろいろな場に出かけての公演)
- ③演劇講座・ワークショップ(演劇の輪を広げる)
- ④他団体との交流(県内の他劇団・生駒で活動されている様々な文化団体)

第6条 (運営委員会)

本劇団の日常運営を行う運営委員会は、劇団代表1名、事務局長1名、会計1名、運営委員2名、以上の5名で構成される。

第7条 (入 団)

入団希望者は、申し込みを行い、運営委員会の承認を得て、団員となることができる。

第8条 (団 費)

団員は入団時に入団金として3000円、以降は団費として毎月2500円(学生は1500円)を支払う。会計年度は1月～12月までとする。

第9条 (休 団)

団員は、長期に渡って本劇団の活動に参加できない場合、運営委員会に休団を申し出ることによって自由に休団できる。休団中の団員は、団費を支払う必要は無いが、活動再開時は再入団扱いとなるため、入団金3000円を支払う。

第10条 (退 団)

団員は、運営委員会に退団を申し出ることによって自由に退団できる。

第11条 (総 会)

総会は劇団の団員をもって構成する最高決議機関である。原則として毎年1回召集される。

附 則

★上記以外の諸問題が発生し、規約の改正が必要とされる場合は、総会での決議で決定される。尚、この規約は1998年12月から施行される。

★上記規約は2010年2月から施行される。

★上記規約は、生駒市自主学习グループ登録名を「いこま座」から生駒市民劇団「シアター生駒」に変更のため、2012年2月から施行される。

★上記規約は2015年4月から施行される。

以上